

2023年2月度 幹事会報告

- I. はじめに
 - ・数名のコロナ感染が確認され、濃厚接触者を含めて、活動を休んでいる。ならやまの活動は屋外でもあり、ならやまの活動による感染リスクが増加したとは考えられないため活動は従来通り継続する
- II. 会計・総務部より
 - ・会員動向：入会1名 会員数150名
 - ・会計：ほぼ予算通り進捗
- III. 活動・行事関係
 - *ならやまプロジェクト関係
 - ・2/18 椎茸イベント 菌打ち・植樹・山遊び
 - ・BCのテント修理が必要
 - ・チップパー機の使用は 管理者をおき注意する
 - *イベント関係
 - ・3/25 わいわい桜祭り 工作の打ち合わせ要
 - ・2023年度イベント計画
 - 天平祭(5月)、お山を歩こう(5月)、里山を歩こう②(8月)、忘年会は取りやめ、新たに「こどもゆめくらぶ」(9月)を追加
 - ・そば祭りと芋煮会は同時開催とする
- IV. 企画、助成金事業案件
 - ・2023年度助成金はコメリ、ならコープ、アダプトのみの予定
 - ・2024年度の応募については年央を目途に検討する
- V 特定議題
 - ・総会資料準備 実績報告 計画、3/10提出
 - ・県との協定更新
 - 現協定内容のまま更新する方向で考える
- VI 広報関係
 - ・ネイチャーなら3月号編集内容について説明
- VII 報告・連絡事項、その他
 - ・2023年度会費納入案内(会報誌3月号同封)
 - 新名簿により会計(尾崎・有元)が集金管理



弥生三月と聞くといよいよ春が近いと感じられます。弥生は旧暦の3月を意味しますが、今日では新暦の3月としても用いられるようです。言葉の由来は、「草木がいよいよ生い茂る月」→「木草弥や生ひ月」→「弥や生ひ」→やよい、になったとの説があります。旧暦の弥生は今より一カ月ほど遅く、文字通り草木が生い茂る暖かい春が感じられたことでしょう。

この冬は10年に1度の寒波到来で、各地で大雪が降るなどしました。車や列車が立ち往生したり、各地で停電や断水したりと大変な冬でしたが、ようやく季節は移り雪も溶けて弥生三月になりました。

長く土の下で春を待っていた草花や木々たちも、春の日差しを浴びてそろそろ芽吹いてくることでしょう。我が家の小さな庭にも“ならやま”の方たちからいただいた草木があります。もう会えなくなった方もおられますが、草木を見る度にその方々を思い出します。今年もまた草木の芽吹きを楽しみにしています。

4月ならやま活動&行事予告

- *ならやま活動(木) 4/6 協働活動日
- *月例研修会 4/18(火) ナメゴ谷の花見
- *自然教室 4/6(木) ならやま自然観察会

会員動向(敬称略)
 <入会者> 2/2 伊藤 めぐみ
 <退会者> 2/4 枇杷原 満喜

発行：奈良・人と自然の会
 URL : <http://www.naranature.com>
 編集代表 Mail: editor@naranature.com
 編集委員：青木(幸)・青木(芳)・尾崎千載・田中(善)・戸田・豊田

表紙写真：子どもたちが会員と一緒にコナラの幼木を植えました。